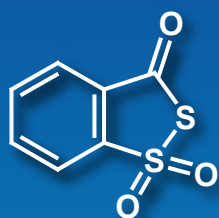
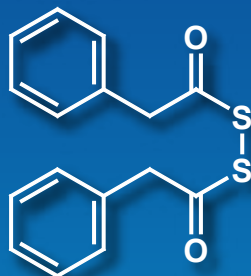


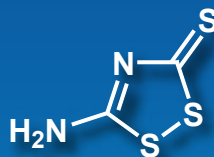
ホスホロチオアートヌクレオチド 合成用硫黄転移試薬



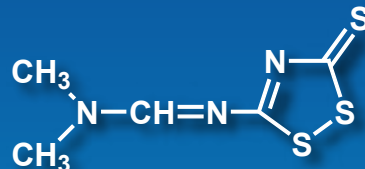
Beaucage Reagent
1g / 5g
[B3125]



Bis(phenylacetyl) Disulfide
5g / 25g
[B3623]



Xanthane Hydride
25g / 100g / 500g
[X0001]

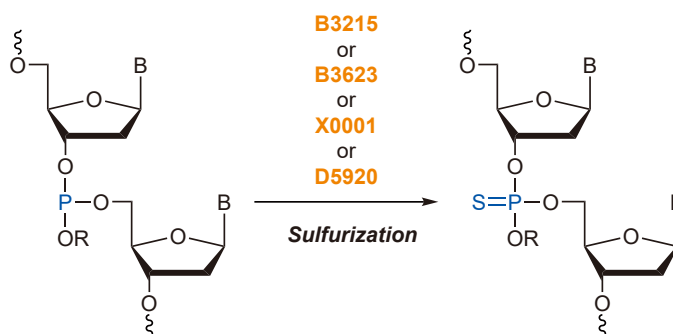


DDTT
5g / 25g / 100g
[D5920]

特長

- ・ホスホロアミダイト法に適した高純度品
- ・X0001は100kgスケールで提供可能

利用例



B3125¹⁾、**B3623**²⁾、**X0001**³⁻⁵⁾ および **D5920**⁶⁾ はホスホロアミダイト法におけるホスホロチオアートヌクレオチドの合成に広く用いられています。

特に、**X0001**と**D5920**は反応時に酸化性物質、二硫化炭素およびシアナミドが副生しないという優れた特徴をもっています。また、DNA/RNA自動合成機では**X0001**の溶液が用いられており、0.02Mのアセトニトリル/ピリジン(9:1)溶液³⁾や0.20Mのピリジン溶液⁵⁾などの使用例が報告されています。**D5920**は**X0001**のアミノ基をdmf基で保護したもので、溶液状態でも**X0001**に比べて安定であるとされています。

- 参考文献 1) S. L. Beaucage, *e-EROS Encycl. Reagents Org. Synth.* **2012**, 1.
2) A. H. Krotz, D. Gorman, P. Mataruse, C. Foster, J. D. Godbout, C. C. Coffin, A. N. Scozzari, *Org. Process Res. Dev.* **2004**, 8, 852.
3) J.-Y. Tang, Y. Han, J. X. Tang, Z. Zhang, *Org. Proc. Res. Dev.* **2000**, 4, 194.
4) J. Hanusek, M. A. Russell, A. P. Laws, P. Jansa, J. H. Atherton, K. Fettesd, M. I. Page, *Org. Biomol. Chem.* **2007**, 5, 478.
5) I. Cedillo, D. Chreng, E. Engle, L. Chen, A. K. McPherson, A. A. Rodriguez, *Molecules* **2017**, 22, 1356.
6) A. P. Guzaev, *Tetrahedron Lett.* **2011**, 52, 434.

上記以外のオリゴヌクレオチド合成試薬についても取り揃えています。各製品の詳細はTCIのウェブサイトへ ▶▶▶

TCI オリゴヌクレオチド合成

東京化成工業株式会社

試薬製品について

■本社営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520 E-mail: Sales-JP@TCIchemicals.com

■大阪営業部 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜1-1-21 第2中井ビル1階
Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158 E-mail: osaka-s@TCIchemicals.com

スケールアップ、受託サービス(合成・開発・製造)について

□化成品営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-5651-5171 Fax: 03-5640-8021 E-mail: finechemicals@TCIchemicals.com

弊社製品取扱店

本誌掲載の化学品は試験・研究用のみ使用するものです。化学知識のある専門家以外の方のご使用はお避けください。品目や製品情報等、掲載内容の変更を予告なく行う場合があります。内容の一部または全部の無断転載・複製はご遠慮ください。